

'07.12

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 木南岩男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎078(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 澤田 功  
印刷所 大和出版印刷株式会社  
会員の購読料は会費に含んでおります

第 604 号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



銀の馬車道劇団公演



もちむぎ料理コンテストの受賞者



町内の歴史遺産を巡る参加者

## Contents

- 県連合会Letter 2～3頁
  - ・商工会会長・副会長研修会
  - ・人事管理委員会
  - ・オンリーワン企業づくりを目指した経営革新塾が閉講
  - ・マル経講習会を開催
  - ・第一回補助金体系検討委員会
  - ・地域財産生かす観光振興を学ぶ
  - ・祝 秋の褒章
- 青年部・女性部Letter 4頁
  - ・県商工会女性部連合会
  - ・香美町商工会青年部
  - ・稲美町商工会女性部
  - ・加美町商工会青年部・女性部
- 商工会Letter 5～6頁
  - ・銀の馬車道リレーイベント
    - 「第8回まつり」と「銀の馬車道交流館」(神崎町商工会)
    - 「いちかわ商工祭」を開催(市川町商工会)
  - ・たつの市商工会
    - 外国人研修生受入れ
    - 合併記念 産業まつりを開催
  - ・商工会ぐっとチャンネルを自主制作(加東市商工会)
  - ・「ゆむら屋」オープン(温泉町商工会)
  - ・但東いろどりフェスタにマモルンジャー登場(但東町商工会)
  - ・八宿まつりを開催(青垣町商工会(現丹波市商工会))

### 銀の馬車道

### 劇団公演とリレーイベントを開催

福崎町商工会

福崎町商工会(後藤雅一会長)では、十月二十七日、「銀の馬車道ウォーク&もちむぎまつり」を開催。また、十月三十一日には、銀の馬車道劇団による「人情喜劇銀の馬車道」を初公演。二回公演し、延べ千四百人の観客の笑いと涙を誘った。約一時間の公演が終わると会場は大きな拍手に包まれた。

また、中播磨地区の商工会では、明治時代に生野銀山から姫路市飾磨港を結ぶ「銀の馬車道」の完成から百三十年目を迎える今年、統一したリレーイベントを展開している。

(関連記事を五頁に掲載)

# 商工会会長・副会長研修会を開催

県商工会連合会は、十月二十三日から二十四日の二日間、南

あわじ市「観光旅館うめ丸」において「平成十九年度商工会会長・副会長研修会」を開催し、県下から約百五十名が参加した。

当日は、木南岩男県連会長の挨拶の後、原田一二三淡路県民局長が来賓あいさつを述べた。

研修Ⅰでは、放送ジャーナリストの平野次郎氏より、『これからの世界情勢と日本経済』をテーマに講演。アメリカ・中国等の経済の動向により日本経済が受ける影響についてわかりや

すく説明いただいた。

続いて、研修Ⅱでは、兵庫県知事の井戸敏三氏より、『兵庫の産業の方向と未来』について、具体的な数値に基づき、将来の兵庫経済と商工会の道しるべ等が示された。

また、本年度より人事管理委員会委員長を務めている石原社員会事務所の石原利男氏が「人事管理に関する諸課題」について報告し、退職金制度や人事交

流の内容について詳細な説明を行った。



▲今後の経済情勢を述べる平野次郎氏

## 第一回補助金体系検討委員会

県商工会連合会は、十月二日、県商工会館において、第一回補助金体系検討委員会を開催した。

本委員会は、昨年度より小規模事業支援費補助金が国から県へ移譲される一方、交付要綱は従前に中小企業庁が作成したものを踏襲している。そのため、行政合併等により商工会を取り巻く環境が大きく変化する中、その内容の見直しが必要になっている。そこで、この交付要綱

を時代に即したものに改正するよう県に働きかけを行うため、調査研究することを目的に設置された。

第一回目は、本会の澤田専務理事が開会挨拶を述べた後、各委員に委嘱状を交付した。会議では、委員会の進め方を協議したほか、事前に他府県へ照会していた現在の補助対象職員設置定数等の状況報告があった。次回以降は、具体的に改正内容を

## 人事管理委員会

県商工会連合会は、十月十八日、県商工会館において、「平成十九年度第四回人事管理委員会」を開催した。

主な協議事項は次のとおり。  
一、平成十九年度人事交流追加承認について  
二、平成十九年人事院勧告について  
三、人事交流計画案作成の委任について  
四、商工会等職員統一採用候補者試験について

五、主席・主任手当てについて  
六、商工会職員退職金共済制度の改正について

を協議していく。



▲開会あいさつをする澤田専務理事

尼崎信用金庫  
淡路信用金庫  
神戸信用金庫  
但馬信用金庫  
但陽信用金庫  
中兵庫信用金庫  
西兵庫信用金庫  
日新信用金庫  
播州信用金庫  
姫路信用金庫  
兵庫信用金庫

アイワエオ庫

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)



最高の信頼を  
めざして。

三井住友銀行

# 地域財産かす観光振興を学ぶ

但馬地区商工会

但馬地区商工会連絡協議会（大橋直人会長 出石町商工会長）では、但馬県民局と共催して、

十月三十日（火）、日高町・ホテル幸祥で、「但馬産業活性化

セミナー」を開催。商工会議所や商工会の関係者、会員事業者ら百五十名が参加した。

セミナーは、但馬地域の現状や課題を見極め、地域経済を再活性化するために、経営革新を

目指す元気企業の育成や、但馬産業遺産を活用した観光振興など将来に向けた活性化手法を模索することを目的としている。

最初に、田舎まるごと販売研究家の松崎了三氏が「新産業創造は経営革新の観点から」地域丸ごと販売術」をテーマに、田舎のイメージを都会に売り出す方法を講演。商品を全面的に出さずに、「村のストーリーや



▲観光振興策を提言する水嶋元氏

## 祝 秋の褒章

平成19年度の秋の褒章受章者が11月2日付けで発表され、県内からは42人と1団体が選ばれた。商工会関係者では、志智宣夫氏（県連合会副会長、南あわじ市商工会会長）が、黄綬褒章の栄に浴されました。

心よりお祝いを申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。



志智 宣夫 氏

文化の価値を如何にお客さんに伝えることが大切」と話した。その後、日高町出身で作家の水嶋元氏（但馬文学会会長）からは、「但馬産業遺産を活かした観光振興」と題して講演があった。「点から線に、線から

面に、観光のあり方を考えなければならぬ。但馬に文化的土壌をつくり、総合的能力を発揮しなければならぬ」と力説。また、産業遺産を活かした観光振興策も具体的に提示した。

## オンラインワン企業づくりを

### 目指した経営革新塾が閉講

県連但馬支所・朝来市四商工会

去る十月十三日、県商工会連合会と朝来市（生野、和田山、山東、朝来）四商工会の共催による経営革新塾が閉講した。経営革新塾は、経営戦略や組織マネジメントなどの知識を習得し

てもらうことを目的に、朝来市内在住・在勤の経営者並びに将来起業を目指す二十九名が参加した。最終日には「当社の経営」と題して、受講者が経営計画を発

## マル経講習会を開催

阪神・丹波、但馬、東・北播磨・淡路地区

県商工会連合会は、十月三日（四日）篠山市「王地山公園ささやま荘」、五日～六日（豊岡市「ホテル幸祥」、十日～十一日（神戸市「シーサイドホテル舞子ピラ神戸」）の三会場において、「小企業等経営改善資金融資制度講習会」を開催した。三会場には、阪神・丹波地区、但馬地区、東・北播磨・淡路地区の商工会より金融審査委員の

出席があり延べ六十一名が受講した。初日は、「企業再生」をテーマとした講演会の後、国民生活金融公庫から金融情勢・マル経資金融資制度について説明した。続いての意見交換会では、金融審査委員より各商工会の金融審査委員会開催状況について報告があり、熱心な意見が出された。



▲金融審査のポイントを学ぶ(但馬地区)



▲経営について討論する受講者

表し将来の経営について決意表明した。経営革新塾終了後は、受講者の発議による打ち上げパーティーを開催。井上秀俊朝来市長や講師等を囲んで、地域振興や元気な経営者集団づくりを話題に夜遅くまで議論していた。

翌日は、十月一日から取扱を開始した「地域ふれあい保証制度の事務取扱等」について制度の目的や保証内容等について説明し、二日間の研修を終了した。

# 指導者研修会を実施

## 県商工会女性部連合会

十月二十四日、二十五日、県商工会女性部連合会（行幸子会長）では、女性部指導者県外交流研修を実施。同日広島市・ウエルシティ広島において開催された全国商工会女性部全国大会に女性部長等三十五名が参加した。

主張発表大会には、近畿ブロックの代表として本県から加東市の山下洋子さんが出場。発表順が来ると、壇上には十二単が飾られ、客席からは応援に用意したこいのぼりが翻った。

山下さんの発表は、最優秀賞は逃したものの、全国の女性部員が一堂に会するこの大会において地域の地場産業・活動を発信する絶好の場となった。

翌日は広島市の中心街で、県



▲第9回全国商工会女性部全国大会

下の地域情報・特産品等を揃える「ひろしま夢ぷらざ」と広島県が誇る自動車メーカー・（株）マツダのミュージアムを視察。最新の技術で安心・安全・環境に配慮する車づくりの技術を目にし、日本が誇るものづくりを体感し二日間に亘る研修を終えた。

## 健康増進と

## 美しい地域（まち）並みづくりへ

### 稲美町商工会女性部

稲美町商工会女性部（西澤緑部長）は、十月三十一日、東北播磨地区管内商工会議所女性部・商工会女性部員百十六名の参加を得て、若手後継者等育成事業を開催した。

稲美町の眺望が一望出来る町立コミュニケーションセンターにおいて各自、体脂肪と血圧測定を行い午前中は「心と身体づくり講演会」3B体操と題して魚住桂子先生から健康についての講話があった。

続いて三種類の運動器具を使用し四十歳代〜七十歳代と幅広い年齢層にあった体操種目を指

# ベンチ十二基を寄贈

## 香美町商工会青年部

香美町商工会青年部（有田泰部長）は、二〇〇二年サッカー日韓ワールドカップの際、神戸ウイングスタジアムで使用された椅子を再利用したベンチを作成。十月二十一日、しおかせ香苑で藤原久嗣町長に贈呈した。ベンチは、香美町庁舎や町内各

所に設置されている。

この事業は、今年四月に香住、村岡、美方の旧三町商工会が合併して誕生した商工会青年部（部員数八十四人）として初めての取り組み。有田泰部長は「合併後の部員相互の親睦とリサイ

## 記念大会を開催

### 加美町商工会青年部・女性部

加美町商工会青年部（藤本明夫部長）・女性部（吉田加代子部長）は、十月二十一日、多可町交流会館において青年部創立四十周年・女性部創立三十五周年の記念大会を開催した。

第一部式典では、藤本青年部長、吉田女性部長の開会挨拶にはじまり、戸田善規多可町長ら来賓から祝辞が述べられた。

次いで、青年部、女性部のこれまでの活動報告があり、その中で、諸先輩への感謝が述べられた。第二部記念講演では、（株）やまそう代表取締役・植村政人氏（全青連会長）が「地域のリーダーたる者のあるべき姿」と題し、自身の事業者としてのあり



▲開会あいさつをする藤本部長

記念大会終了後は、歴代部長や講師を交えて懇親会を開催し、和気あいあいの内に終了した。

方を出席者の立場に置き換えて講演。自己改革や組織改革は自分次第であること、組織には共有する夢が持てるのが理想と語り、出席者は真剣に聞き入っていた。



▲藤原町長にベンチを寄贈する有田部長

クルについて考える良い機会となった」と話していた。

## 銀の馬車道リレーイベント

### 地域活力増進事業

# 「第八回まつせまつり」と銀の馬車道交流館

## 神崎町商工会



▲テープカットをする谷総商工会長(左端)

神崎町商工会(谷総忍孝会長)

では、十月二十一日に「広げよう銀の馬車道まちづくりの輪」をテーマに、「第八回まつせまつり」を神河町中村・栗賀町の旧街道で開催した。まつりでは、町内出店者の方によるバザーに加えて、獅子舞や和太鼓など多彩なイベントが披露され大変賑わった。  
また、まちづくりや商工業活性化を目的に但陽信用金庫(桑

田純一郎理事長)の協力により、旧栗賀支店をリニューアルした「銀の馬車道交流館」もオープンした。当館は明治時代に生野鉾山と飾磨港を結び、産業道路として利用されていた「銀の馬車道」沿いにある。

オープン当日、館内には実物の半分ほどの馬車を再現し、生野鉾山から産出した鉾石や馬車道沿いの当時の写真などを展示し大変関心を集めた。

## いちかわ商工祭を開催

### 市川町商工会

市川町商工会(中川俊昭会長)

では、十月二十八日、地域の魅力を再発見しようと、初の「いちかわ商工祭」を開催した。

当日は、馬車道の面影を残す屋形地区や町文化センターにおいて馬車を再現、往時の衣装をまとった人々と共に歴史パレードを繰り広げた。姉妹都市の米国ポートタウンセント市の親善訪

問団も参加し大いに盛り上げた。

メイン会場では市川高校ブラズバンド部の演奏や、県指定無形民俗文化財の甘地獅子舞、女性部のよさこいなど多彩なステージのほか、青年部による郷土料理「じゃこずし」の再現販売、銀馬車饅頭など特産品の販売やフリーマーケットなどの催し物があり、終日賑わった。



▲米国親善訪問団も参加しての歴史パレード

## たつの市商工会

### 外国人研修生を受入れ

たつの市商工会(木南岩男会長)

では、本年も外国人研修生受入事業を実施して、中国から十八名の研修生を受け入れた。外国人研修事業は、七年目となる事業で、今年はカキ取扱業の研修を行う。

十月五日には、受入事業所六社をはじめ地区自治会、警察、漁業組合などの関係者が多数出席して歓迎会を開催した。

歓迎会では、木南商工会長から研修生に「健康に留意して研修と実習を通じて語学と技術を習得してほしい。そして、地域住民とふれあい日本の良いところを帰国してもPRしてもらいたい」と激励し研修に入った。

### 合併記念 産業まつりを開催

十月二十八日には、商工会合併記念事業として揖保川産業まつりを盛大に開催した。

産業まつりは、商工会合併後にたつの市民まつりの一環として取り組んだ。当日は、保育園児による太鼓演奏と木南商工会長の力強い挨拶で開会。会場は、ジャグリングショーや住民参加

わたしたちジブラルタ生命が、サポートいたします。

## 商工貯蓄共済制度



▲7年目となる外国人受入研修事業

の大綱引き大会で盛り上がった。また、青年部や女性部をはじめ模擬店やフリーマーケットも出店。昨年を上回る七千五百人の人出で終日賑わった。



▲岡田理事長(左)、北村商工会長(中)、馬場町長(右)

温泉町商工会(北村讓次会長)では、十月十九日、活力あるま

# 「ゆむら屋」オープン

## 温泉町商工会

ちなか商店街づくり事業として、特産品販売や手作り体験を行う観光施設「ゆむら屋」をオープンさせた。この施設は、県町の補助を受けて空き店舗を活用して、地域商店街の活性化を目指して取り組んでいるもの。

開店初日は、ひょうご産業活性化センター岡田奈良夫理事長をはじめ馬場雅人町長や北村讓次商工会長らによるテープカットが行われ、オープンを祝った。「ゆむら屋」は、築八十年のケ



▲商工会活動について語る藤井商工会長

# 「商工会ぐっとチャンネル」を自主制作

## 加東市商工会

加東市商工会(藤井悦治会長)では、地域のケーブルテレビを利用して商工会の情報を発信しようとして、番組の自主制作を開始した。

番組名は、「商工会ぐっとチャンネル」。市が運営するケーブルテレビを利用して、今年度は十月と十一月の二回放送を予定。番組制作にあたっては、地域住民への商工会活動の認知、会員企業への情報提供による活用促進

を主な目的としている。

第一回目となった十月の放送では、藤井会長の挨拶に始まり、地場産業である「釣針」を特集したほか、商工会ニュース、イ

# 八宿まつりを開催

## 青垣町商工会(現丹波市商工会)

十月二十一日、青垣町商工会(谷垣豊会長)は、佐治市街地において「丹波八宿青垣の秋たらふく街道まつり」を開催した。

佐治はかつて京都と山陰を結ぶ交通の要衝で、宿場町として栄え今もその面影を残す街並み



▲多くの人出で賑わう宿場町

ヤキ造りの風格ある建物。館内には、木竹製品の展示販売や農産物や特産品PRコーナーがあり、パソコンによる商店検索も行える。また、商店街で初めて

の体験型施設で、今後は地元の手芸家が講師となりわら細工、木工、竹製品などの体験教室を行うほか、町内で採れた旬の農産品や特産品の販売も行う。

クラシックカーの展示や懐かし遊び・道具・大道芸のほか、食のウォークラリーなどを開催した。多くの観光客は、丹波版青垣オールウェイズに秋の一日を楽しんでいた。

# 但東いざどりフェスタにマモルンジャー登場

## 但東町商工会

但東町商工会(岡田重明会長)は、地域住民の元氣アップと市民交流の場、産業振興と地域活性化を目的に『二〇〇七但東いざどりフェスタ』を十月十四日(日)、豊岡市但東総合支所前で開催し多数の来場者で賑わった。

今年は、商工会青年部員による町の環境美化を訴える「マモルンジャー」が登場。赤・青・白色の衣装を着たマモルンジャー三人組に青年部員が変身会場の子供たちの応援がパワーとなりゴミのポイ捨てで町を汚



▲新ヒーロー「マモルンジャー」

ベントのお知らせを放映した。商工会がケーブルテレビを利用して、番組制作・放送をおこなうのは、全国的にも珍しく、今後放送内容を充実させていく。

す悪役を退治した。コウノトリレンジャーも応援に駆けつけアクションやユーモアを交え子供たちにゴミのポイ捨て禁止を楽しく訴えた。